

# 松山バレエ団・松山バレエ学校

1948年（昭和23年）に清水正夫（前・理事長）と松山樹子（現・名誉芸術監督）によって創立されて以来、半世紀の歴史を持つ日本を代表するバレエ団、バレエ学校。

現在、松山バレエ団は新「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「ロミオとジュリエット」「シンデレラ」ほかドラマチックな全幕バレエのレパートリーを豊富に揃え、年間40あまりの公園を行ってバレエ芸術の普及・振興に邁進している。また、松山バレエ学校は全国に支部を持ち、所属する生徒・研究生2000名あまり、精力的なバレエ教育で常に注目を集めている。

財団法人松山バレエ団は、2013年4月1日をもって、公益財団法人松山バレエ団へと移行し、更に芸術を通じて社会に貢献できる団体を目指しております。



清水哲太郎

ザ・ジャパン・バレエ 松山バレエ団 松山バレエ学校  
総代表、演出・振付家、舞踊家

日本において東勇作、松山樹子、モナコにてマリカ・ペゾプラゾヴァ、ニューヨークにてスタンリー・ウイリアムズの各氏に師事。世界に活躍の場を広げる。芸術選奨文部大臣賞など受賞多数。2005年には紫綬褒章を受章。



森下洋子

松山バレエ団 理事長・団長 プリマバレリーナ

3歳よりバレエをはじめ、12歳で单身上京、バレエに打ち込む。1971年松山バレエ団に入団、松山樹子に師事。ヴァルナ国際バレエコンクールにて金賞受賞。海外でも幅広く活躍。1977年、女性最年少の文化功労者として顕彰される。2001年松山バレエ団長に就任。松山バレエ団プリマバレリーナとしてほとんどの公演に主演する一方、バレエ団の創造活動の要として活躍。日本芸術院会員。

2012年、第24回高松宮殿下記念世界文化賞受賞。